15 うさぎと　かめ

教師用指導例

めあて　場面を想像しながら，元気に読みましょう。

スキル① ➡ p.16

【学習指導要領との関連】内容　C　読むこと
（1）読むことの能力を育てるため，次の事項について指導する。
ア　語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。

学習のポイント

多くの子どもが知っている歌である。ここではおいよみ，こうたいよみ，みんなよみからアリゾウよみまでいろいろと変化をつけて読んでいく。リズム良く読むことで音読の楽しさを児童に感じさせたい。

授業の流れ

1日目

1．おいよみ（1分）
指示 1　先生のあとについて読みます。

2．こうたいよみ（1分）
指示 2　先生と1行ごとに交代で読みます。
指示 3　男女で1行ごとに交代で読みます。
指示 4　教室のろう下がわの人と，まどがわの人と交代で読みます（教室を半分に分けて）。
指示 5　列ごとに交代で読みます。

3．みんなよみ（1分）
指示 6　全員で声をそろえて読みます。

4．たけのこよみ（1分）
指示 7　読みたい行を1つ選んで，上に○をつけます。
指示 8　○をつけた行がきたら，その場で立って読みます。
指示 9　○の数をもう1つふやします。

5．ひとりよみ（1分）
指示10　大きな声ではっきり読みます。
指示11　すらすらとつかえずに読めるようになるまで練習します。

2日目

1．みんなよみ（1分）
※指示はなしで，すぐに読み始める。

2．こうたいよみ（1分）
指示 1　先生と1行ごとに交代で読みます。
指示 2　男女で1行ごとに交代で読みます。
指示 3　教室のろう下がわの人と，まどがわの人と交代で読みます（教室を半分に分けて）。
指示 4　列ごとに交代で読みます。

3．ひとりよみ（1分）
指示 5　大きな声ではっきり読みます。
指示 6　すらすらとつかえずに読めるようになるまで練習します。

3日目

1．みんなよみ（1分）
※指示はなしで，すぐに読み始める。

2．アリゾウよみ（1分）
指示 1　アリさんのような小さな声で読みます。
指示 2　ゾウさんのような大きな声で読みます。

3．チャレンジ「うたって　みよう」（2分）
指示 3　みんなで声をそろえて読みます。
指示 4　読むはやさをだんだんはやくします。

指示 5　曲に合わせて歌ってみます。

4日目

1．みんなよみ（1分）

※指示はなしで，すぐに読み始める。

2．アクティブ・ラーニング（5～8分）

指示 1　題名をノートに写します。

発問 1　1番は誰が誰に話しかけているのですか。ノートに書きましょう。
「○○が～へ話しかけている。」（うさぎがかめに話しかけている。）

指示 2　理由を発表しましょう。（もしもし　かめよと呼んでいるので。）

発問 2　2番は誰が誰に話しかけているのですか。ノートに書きましょう。
「○○が～へ話しかけている。（かめがうさぎに話しかけている。）

指示 3　理由を発表しましょう。（「なんとおっしゃるうさぎさん」と答えているので。）

発問 3　うさぎとかめは仲がいいのでしょうか。ノートに「いい」「わるい」を書きましょう。

指示 4　理由をノートに書きましょう。書けたら持ってきます。黒板にも書きましょう。
（あらかじめ「いい」「わるい」と黒板を二つに区切っておいて書かせる。）

指示 5　黒板の意見に反対の人は発表しましょう。

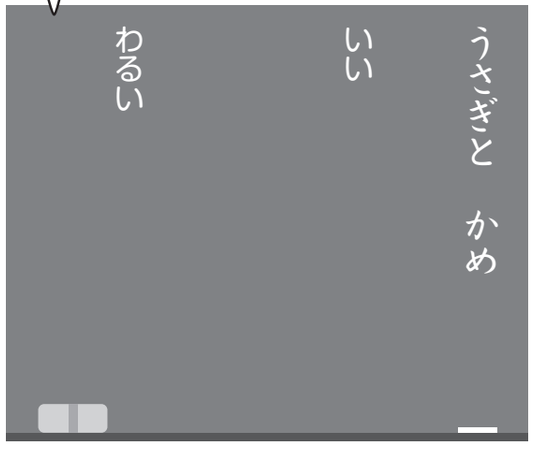
3．ひとりよみ（1分）

指示 6　大きな声ではっきり読みます。

指示 7　すらすらとつかえずに読めるようになるまで練習します。

玉川大学教職大学院教授
谷 和樹氏による
解説・実践映像

板書の例



ノートの例

うさぎと　かめ
①うさぎが　かめに
はなしかけて　いる。
②かめが　うさぎに
はなしかけて　いる。
③わるい
④「おまえ」や　「のろい」など
らんぼうな　ことばを
つかって　いるから。

評価基準例

A　よくできた

①場面を想像しながら，大きな声で楽しく元気に読むことができた。
②うさぎとかめの関係を３つ以上理由をつけて考えることができた。

B　できた

①場面を想像しながら，楽しく元気に読むことができた。
②うさぎとかめの関係を１つ以上理由をつけて考えることができた。

C　もうすこし

①場面を想像しながら，元気に読もうと努めた。
②うさぎとかめの関係を理由をつけて考えようと努めた。